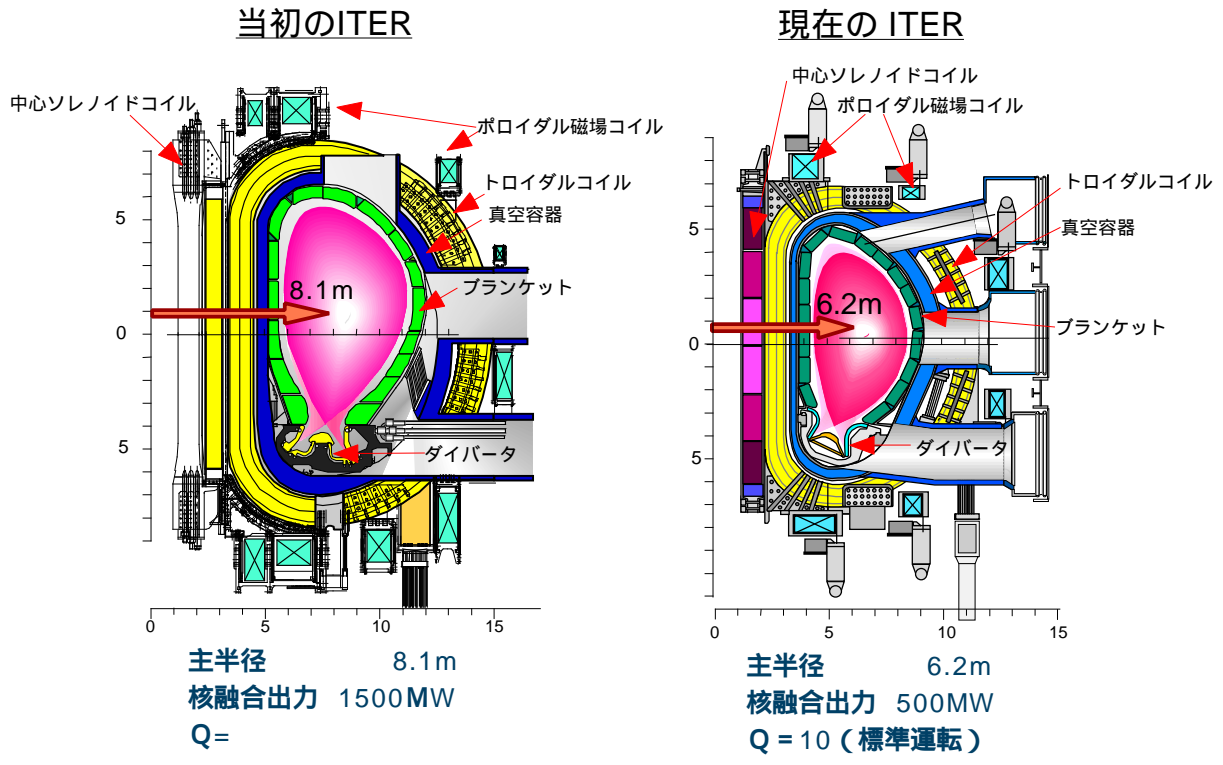


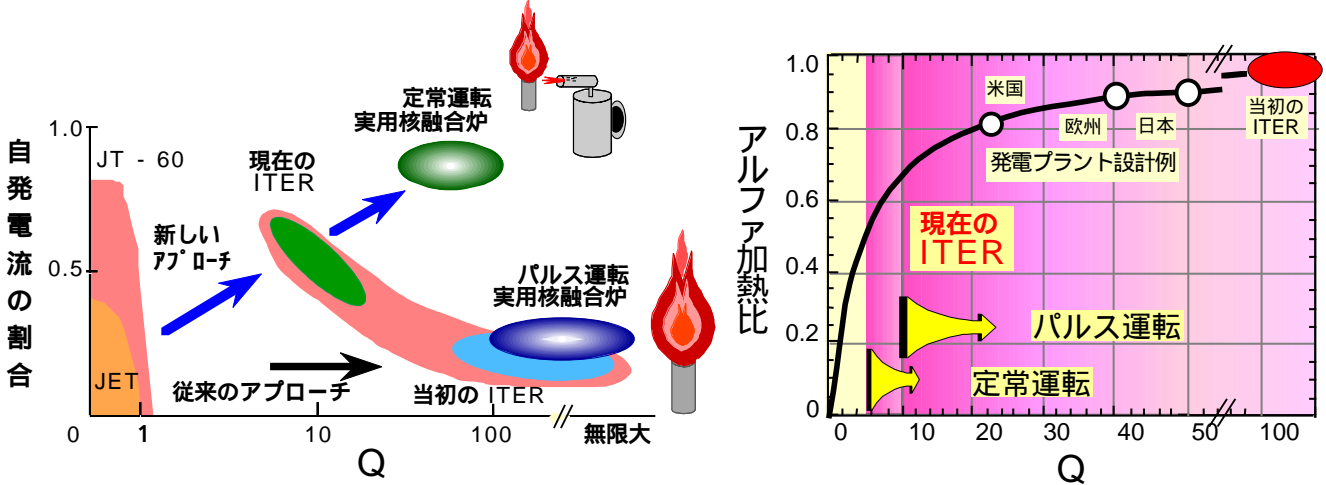
新旧ITERの比較



エネルギー増倍率 Q 10 では、アルファ加熱による自己加熱が主である。自己加熱領域のプラズマ理解が、核融合実用化に不可欠である。

トカマク型定常運転実用核融合炉のQ値では、20 ~ 50 程度である。

出典：原子力委員会核融合会議開発戦略検討分科会
「核融合エネルギーの技術的実現性 計画の拡がりと裾野としての基礎研究に関する報告書」
(平成12年5月17日)



$$\text{エネルギー増倍率 (Q)} = \frac{\text{核融合出力}}{\text{外部加熱入力}}$$

$$\text{アルファ加熱比} = \frac{\text{粒子による加熱パワー}}{\text{プラズマ加熱パワー}}$$